

シビル市民講座「わが町の果樹園ものがたり」スピンオフ企画決定！！

ようこそ、食べ物が生まれる国へ

## ドキュメンタリー映画「百姓の百の声」自主上映会

(柴田昌平監督 130分 制作:プロダクション・エイシア 制作協力:農山漁村文化協会)

日時 2024年8月12日(月・休) 13:30～16:30 (開場 13:10)

上映(130分)に引き続き関係者のトークを予定しています

場所 アイムホール (立川市女性総合センター) ※裏面に地図

入場料金 一般:1,000円 (シビル会員:900円) 定員 190人

チケットは、5月15日よりシビルで販売 (予約は、下記の電話かメールで)

食べている限り、誰の隣にも「農」はある。

なのにどうして、これほど「農」の世界は私たちから遠いのか。

和食を撮って世界を魅了した『千年の一滴 だし しょうゆ』の柴田昌平監督が、「食」の原点である「農」と向き合った。

全国の百姓たちの知恵・工夫・人生を、美しい映像と丁寧なインタビューで紡ぎ出す。

田んぼで農家の人たちが何と格闘しているのか、ビニールハウスの中で何を考えているのか多くの人が漠然と「風景」としか見ていない営みの、そのコアな姿が、鮮やかに浮かび上がる

百姓の百の声

みんなつまづく。そして前を向く。映画に登場する百姓たちは、小手先では解決しないさまざまな矛盾を、独自の工夫で克服していく。

これは自然と向き合い作物を熟知する百姓たちの叡智を訪ねたドキュメンタリー。

「耕す人々」の世界の入り口がここにある。

主催：市民の学習・活動・交流センター シビル

190-0023 東京都立川市柴崎町 3-10-4

電話：042-524-9014 メール：civiltachikawa@yahoo.co.jp



(公式ホームページより引用)

.....

タネは、長い歳月をかけて更新されてきた農民の努力の結集であり、独占するのではなく、共有していくことが、行く行く危機回避につながるという。同様に、お百姓さんひとりひとりの肉体に、何世代にもわたり試行錯誤を繰り返しながら引き継がれてきた農民の記憶や技術、哲学が宿っている。

柴田監督の開かれた知と情熱は、個々のお百姓さんに蓄えられてきた膨大な叡智にアクセスすることを試みた。「批判」「対立構造」「問題解決」などという安易な提示に慣れきっている私たちに、この世界は、もっともっと複雑で奥深く、それを理解し創意工夫するお百姓さんの喜びや面白さを伝える。日本の農業の厳しい現状を想像しつつも、ひとりひとりの姿を見ていたら力が湧いてきた。百姓国の「知」の扉は、これからの私たちの厳しくとも陽の射す明るい道へ続いていることを確信した。

(瀬瀬あや 映画監督)

